四谷地区協議会だより

声 ―ぼいす― Voice

No. 1 創刊号

平成21年11月発行

信濃町、大京町界隈を歩いて出会えるワンショット

地域の方の手作り作品

とうもろこしの外皮で作った親子亀

Voice 1

ごあいさつ

四谷地区協議会会長　大熊　勝

本年五月より発足いたしました第三期四谷地区協議会では協議会の情報発信の必要性を考え「広報」部門を設立いたしました。そしてこの度、念願の情報誌「声」が定期的に発行される運びとなりました。今日の活動の活発化があるのは、ひとえに町会・団体推薦委員、公募委員の推進力と地域の皆様のお力添えのおかげです。そうした活動を創刊号では地図でお示しするという特集を組みました。あらためて地図上の活動をご覧いただくと「協議会」を身近に感じていただけることと思います。なお、これらの活動以外にも区への提言書、パブリックコメント提出などの様々な区政参画に取り組んでいます。今後は、このような情報を地域にお知らせしながら、この地図の延長線上にある地域から皆様の「声」を集め地域力を結集できる組織を目指してまいります。今後ともご支援ご協力を心よりお願い申しあげます。

Voice 2

広報誌創刊に寄せて

四谷特別出張所長　谷川省一

広報誌「声」創刊おめでとうございます。

三期目を迎えた四谷地区協議会では、区政への参画、地域課題解決の場として益々活動内容の充実が図られていると思います。

この度の広報誌の定期発行により、皆様の活動状況が積極的に地域に発信され、大勢の方が地区協議会の活動に注目し、応援してくれることと思います。

新しい広報誌と共に、今まで以上に地域と協議会が一体となって、暮らしやすく、賑わいに満ちた文化の薫る四谷のまちが創られていくことを期待いたします。

四谷子ども見守り隊の皆さんと

第二分科会　リーダー　大友敏郎

活動への抱負

地域諸団体と「連携と協働」を合言葉に住みよいまちづくりを推進します。

分科会のPR

行動が早く意見のまとまりがよい会です。少子高齢化問題等、力を合わせ解決して参ります。

地域勉強会講演者を囲んで

第一分科会　リーダー　高野　健

活動への抱負

四谷を地域の皆さんと守り、愛し、未来につなげる意識の共有を目的とした活動を目指します。

分科会のPR

四谷の財産である歴史と文化を尊重し、大人も子どもも一緒になって参加できる事業（お宝さがし、地域勉強会等）を通して、まちの活性化の展望を図っていきます。

四谷のお宝さがし
～秘話・こぼれ話を御紹介～

【孫文の書】

第１回　四谷お宝さがし発表会　鑑定士賞

文字は「博愛」…書いた人は「孫文」…この書をお持ちの方は現在四谷に住まわれていますが、先代が霊南坂（港区）にお住まいでした。その隣家に当時アジア各地の民族主義者・独立運動家への援助を積極的に行っていた頭山　満（1855～1944享年89歳）氏という人が居住されていました。著名な中国の革命家孫文も頭山氏を頼り 1914 年日本に亡命し、隣家の山崎家に一時的に匿われたそうです。　詳しいいきさつはともかく、当時の日本の情勢を考えると、匿うことの苦難苦渋が伺い知れます。「博愛」を辞書で引くと、「分け隔てなく広い心で平等に愛すること」と記されています。孫文は、困難な状況においても、人の命を尊んだ山崎氏に感謝の念をこめ渾身の書をしたため送ったのでしょう。歴史上名高い革命家が遺した書を取材させていただき、実行委員は感謝しつつあらためて「お宝さがし」活動への決意を新たにしました。

※この書は個人の所有物ですので現在非公開となっておりますがご了承ください。

協議会広報誌 声 次号からのお知らせ

私の好きなワンショット！
路地の風景、植物・動物、あなたの好きな四谷の写真をお送りください。表紙に掲載させていただきます。

教えて地区協！
あの話はその後どうなったの…？地域の様々な疑問をお寄せいただき協議会がお調べして回答いたします。

四谷のお宝さがし秘話・こぼれ話
「四谷のお宝さがし」活動を通して集めた情報、こぼれ話などを紹介いたします。

自治を学ぶ
現在制定検討中の自治基本条例など、自治について情報提供します。

その他協議会を組織する町会・様々な団体の情報、活動をご紹介します。

次号は２月発行予定です。お楽しみに！

四谷特別出張所に地区協議会 BOX を設置しています。
自治に関する意見・コミュニティ生活の中で感じる事柄、 まちづくりに関する提案・疑問、表紙を飾る四谷のワンショット写真、協議会活動に関するご質問・ご意見……など
備え付けの用紙・封筒に必要事項をご記入の上ご投函ください。
～あなたの声が四谷を…～　変えます !!
お気軽にお寄せください。

随時募集!!

編集・発行　四谷地区協議会
【事務局】（四谷特別出張所内）
〒160-8581　新宿区内藤町 87 番地
電話 3354-6171　FAX.3350-9403
E-mail：yotsuya@city.shinjuku.tokyo.jp

広報　リーダー　松川英夫

活動への抱負

四谷地区協議会の設立目的を確立し、地域の方々と共に四谷地区を一層活性化するための広報活動といたします。

広報のPR

各分科会の活動を地域の諸団体や個人にお知らせすることはもとより、協議会のあり方を広報誌でお示しします。

編集後記

「ピカピカの広報誌」創刊。今、可愛い子が課題を背に旅立つ。　阿部

四谷はみどりの占める面積が大きい地域です。季節の色が感じられる広報誌を作りたいと思います。　有賀

新しい広報誌作成にかかわることになり、おおきな責任を感じております。皆様から『声』を頂けるような紙面づくりを心がけて参ります。　小西

地域が求めるものをしっかり受け止め、内にあっては情報の共有、外にあっては積極的な収集とわかりやすい発信を目指します。乞うご期待！　野澤

組織構成図

役員会（会長、各分科会リーダー・広報、調整担当副会長）
- 広報
- 調整・会計
- ①まちづくり（地域課題・歴史・文化・自治）　第１分科会
- ②健康で安心なコミュニティづくり（子ども・高齢者・健康・防災・地域安全）　第２分科会
- ③生活環境・まち美化（みどり・環境・リサイクル）　第３分科会

組織の特色

① **実行委員会方式の活動**
協議会委員以外の方もテーマごとに参加できる仕組みづくり

② **「広報」「調整」担当の設置**
情報の発信、地域諸団体・組織内部の連携強化

③ **新規課題別プロジェクトの発足**
明確な課題に対し、迅速な対応を求められる活動体

④ **意欲を持った地域在住・在活動の人が委員として活動している**
推薦、公募を問わず積極的に活動・運営

第３期四谷地区協議会
～あなたの声が四谷を変える～

私たち四谷地区協議会は、
皆さんの声と一緒に歩みます！

「地区協議会」とは……

★新宿区の各特別出張所の地区ごとに「区民の区政参画の場」「地域課題解決の場」として設置されています。
★行政と区民の協働・住民自治の充実を図るため活動しています。
★新宿区と対等な立場で協力し合うパートナーです。

「地区協議会の活動」とは……

☆町会など各種地域団体と情報の共有、ネットワークを構築します。
☆多様で開かれた協議会として、地区内の意見が集約される場とします。
☆地域の日常的課題の解決策を検討します。
☆基本計画等、区の計画に関して、区との意見交換や提案をします。
☆各地域の将来の姿や地域の課題を検討し、区へ提言します。

協議会（代表委員選出）参加団体

- 四谷地区町会連合会
- 四谷清掃協力会
- 四谷地域センター運営委員会
- 新宿区保護司会
- 四谷ひろば運営協議会
- 青少年活動推進委員会
- 四谷地区青少年育成委員会
- 四谷地区商店会連合会
- 四谷地区民生・児童委員協議会
- 新宿地区商店会連合会
- ＰＴＡ（八校会）
- 四谷消防団
- スクールコーディネーター
- 四谷地区高齢者クラブ連合会
- 体育指導員（スポーツ交流会）

課題別プロジェクト「防災・地域安全」

防災ワークショップ風景

リーダー　大塚光男

活動への抱負

四谷の安心安全のため、その時々の問題に真剣に取り組み、がんばっていきたいと思います。

プロジェクトのPR

防災・地域安全をテーマに昨年度好評だった「救命講習会」を中心に、より多くの地域の皆さんと共に、課題解決に取り組んでいきます。ぜひ、ご意見ご要望をお聞かせください。

水道局の皆さんと花壇のお手入れ

第三分科会　リーダー　田中健士

活動への抱負

日頃の暮らしの中で私たち住民と行政とで一緒になって改善したい環境の課題に取り組みます。

分科会のPR

四谷のまちの美化と環境の課題を考え、改善のために行動する分科会として再スタートしました。今後もひきつづき花いっぱい運動とゴミゼロデー活動を実施します。

※7月には話題となっている太陽光発電について都・区助成金の実情と合わせて勉強会を開催しました。